



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
 コード番号 2573 URL <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 康行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部担当 (氏名) 矢野 恭弘

TEL 011-888-2051

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	38,829	6.8	791	56.3	1,017	44.2	637	48.2
2019年12月期第3四半期	41,656	1.3	1,811	15.6	1,824	17.8	1,230	13.9

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 634百万円 (49.9%) 2019年12月期第3四半期 1,267百万円 (9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	87.22	
2019年12月期第3四半期	168.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	50,515	41,622	82.4
2019年12月期	50,259	41,427	82.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 41,622百万円 2019年12月期 41,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		30.00		30.00	60.00
2020年12月期		30.00			
2020年12月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,700	8.3	600	70.8	920	55.9	560	60.6	76.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	7,606,898 株	2019年12月期	7,606,898 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	302,690 株	2019年12月期	302,455 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	7,304,331 株	2019年12月期3Q	7,304,545 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 新型コロナウイルス感染症への対応状況について	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス影響により大幅に落ち込みを見せた4～6月以降、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られますが回復ペースは緩やかであり、2020年度の成長率は大幅なマイナスが予想されます。

北海道経済においても、緊急事態宣言の解除やGo Toトラベル等施策により景気は下げ止まりの傾向が見られるものの、経済成長率は前年を大きく下回っており、予断を許さない状況です。

当社では新型コロナウイルス感染症対策として、当社BCPに則り、従業員やその家族、道民の皆様の健康と安全の確保のため、全従業員のマスク着用、在宅勤務やWeb会議の活用、座席間のパネル設置等、感染拡大防止に取り組んでおります。これらの取り組みは、北海道からの呼びかけに基づき、当社の『「新北海道スタイル」安心宣言』を作成し、当社HP等で周知しております。

また、「どさんこ企業として、いまできることを」という想いのもと、公共性の高い施設に設置されている自動販売機やディスペンサー約2千4百台に、抗ウイルス・抗菌施工を実施しております。

このような状況の中で、当社グループは営業上の取り組みとして、スーパーマーケット等の量販店においては、コロナ禍で増加した家庭内需要に対応するべく、水やお茶等の商品をお求めやすい価格で提供しました。また、外出自粛が求められる中、限られた時間で商品を購入しやすくなるよう、複数本のまとめ売りによる展開を行う等、オンラインでの商品販売とあわせて、道民の皆様の需要に対応する商品の提供活動をしました。

自動販売機ビジネスにおいては、札幌中心部をはじめとする多くの企業で、在宅勤務や時差出勤等の新型コロナウイルス対策が継続されており、自動販売機の売上は厳しい状況が続いています。また、外食産業の回復は遅く完全回復の見通しは立っておりませんが、Go Toトラベル等施策による観光客の増加は一部見られており、交通チャネル・観光地等での売上回復を図る活動を強化しております。

新商品としては、キャラメルシロップの風味豊かなコクと甘みが楽しめる「ジョージア ラテニスタ キャラメルラテ」、「ジョージア」の対象製品において当たりが出たらコカ・コーラ公式アプリ「Coke ON」でお好きなジョージア製品がもう1本もらえる「ジョージア“運だめし”缶」等を発売しました。また、5年ぶりに「コカ・コーラ ゼロ」をフルリニューアルし、これまでよりも「コカ・コーラ」ならではのおいしさを楽しむよう、さらに後味がすっきりと飲みやすくなりました。

また、「北の大地とともに」を合言葉にCSR活動を展開し、「SDGs(持続可能な開発目標)」を新たな指標ととらえ活動の強化を図る中、環境に対する取り組みとしては、コカ・コーラシステムの目標として「World Without Waste(廃棄物ゼロ社会)」の実現に向け「容器の2030年ビジョン」を掲げ、2030年までにペットボトル素材をサステナブル素材100%とし新たな化石燃料を使用しない容器を完全導入すること、日本国内で販売した同等量のペットボトル容器を回収すること等を目指して進めてまいります。

社会貢献活動としては、公共財団法人アイヌ民族文化財団と「ペットボトルの資源循環の協働事業」を開始しました。この活動の一環として、アイヌ文化の振興・発展及び国民理解促進の拠点であるウポポイ(民族共生象徴空間)に空容器回収ボックス「リバースベンディングマシン」を設置しました。これは使用済みペットボトルを回収・リサイクル処理したうえでペットボトルとして再生し、飲料の容器として用いる「ボトルtoボトル」の促進を図るほか、回収した空容器1本につき1円が公共財団法人アイヌ民族文化財団へ寄付されアイヌ文化の振興に活用される予定です。

以上の様々な取り組みを実施した結果、引き続き飲食、宿泊、交通マーケットを中心とした市場環境低迷の影響はあったものの、経済活動が徐々に再開してきたことに加え、コロナ禍における生活者の変化に対応した新しい価値提供を強化した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は388億2千9百万円(前年同期比6.8%減)となりました。利益につきましては、全社をあげたコスト削減活動の徹底により利益確保に努めた結果、営業利益は7億9千1百万円(前年同期比56.3%減)、経常利益は10億1千7百万円(前年同期比44.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億3千7百万円(前年同期比48.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、現金及び預金やソフトウェアの増加などにより、前連結会計年度末に比べ2億5千5百万円増加し、505億1千5百万円となりました。

負債は、賞与引当金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ6千万円増加し、88億9千2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1億9千5百万円増加し、416億2千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日に未定としていました業績予想を修正しております。詳しくは、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対応状況について

当社グループは、新型コロナウイルスの感染が拡大している中、生活者の皆様、お取引先様、そして従業員の安全と健康を最優先に掲げ、感染拡大対策に取り組んでおります。

いまだ先の見えない困難な状況が続いておりますが、「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業としてこれまでと変わらずに「さわやかさと潤いを提供する」ことで、北海道の皆様にお届けすることを私達にできる使命と捉え、安全・安心な製品の供給を継続すべく事業活動を行っております。

本日時点での当社グループの対応状況は、以下のとおりであります。

- ・当社グループは、ソーシャルディスタンスの確保、手洗い、消毒の徹底など、感染予防対策の強化を実施しております。
- ・リモートで可能な業務は積極的に在宅勤務を実施しております。
- ・小中高等学校などの休校中に育児支援が必要な従業員のサポートを実施しております。
- ・工場見学の受け入れ、大規模イベントを中止するとともに、当社事業所の訪問者に対して検温や体調確認を実施しております。
- ・当社の全事業所において事業継続のための計画を強化し、あらゆるシナリオを想定することで、引き続き安全・安心な製品の供給を行ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,735	11,563
受取手形及び売掛金	5,624	5,576
商品及び製品	4,746	4,756
原材料及び貯蔵品	340	498
その他	1,883	1,766
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	23,328	24,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,452	7,164
機械装置及び運搬具（純額）	4,349	4,066
販売機器（純額）	4,387	3,889
土地	6,019	6,019
建設仮勘定	405	384
その他（純額）	1,001	1,060
有形固定資産合計	23,615	22,584
無形固定資産		
ソフトウェア	643	883
その他	10	10
無形固定資産合計	653	894
投資その他の資産		
投資有価証券	1,208	1,261
繰延税金資産	6	37
退職給付に係る資産	1,052	1,267
その他	410	324
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,662	2,875
固定資産合計	26,931	26,353
資産合計	50,259	50,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,006	3,298
未払金	2,154	1,954
未払法人税等	249	179
賞与引当金	-	361
災害損失引当金	10	2
設備関係未払金	619	222
その他	1,946	1,897
流動負債合計	7,988	7,917
固定負債		
資産除去債務	93	88
環境対策引当金	3	3
その他	747	883
固定負債合計	843	975
負債合計	8,832	8,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	4,924	4,924
利益剰余金	34,095	34,294
自己株式	△908	△909
株主資本合計	41,047	41,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	179	199
退職給付に係る調整累計額	200	177
その他の包括利益累計額合計	379	377
純資産合計	41,427	41,622
負債純資産合計	50,259	50,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	41,656	38,829
売上原価	26,393	25,609
売上総利益	15,262	13,219
販売費及び一般管理費	13,451	12,428
営業利益	1,811	791
営業外収益		
受取配当金	11	11
受取賃貸料	17	17
助成金収入	15	263
その他	57	43
営業外収益合計	102	336
営業外費用		
支払利息	1	1
固定資産除売却損	50	68
寄付金	25	27
その他	12	13
営業外費用合計	89	109
経常利益	1,824	1,017
特別利益		
投資有価証券売却益	0	1
受取保険金	49	-
その他	-	0
特別利益合計	49	1
特別損失		
固定資産除売却損	13	5
その他	0	0
特別損失合計	14	5
税金等調整前四半期純利益	1,859	1,013
法人税、住民税及び事業税	624	392
法人税等調整額	4	△16
法人税等合計	629	376
四半期純利益	1,230	637
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,230	637

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,230	637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	20
退職給付に係る調整額	52	△22
その他の包括利益合計	36	△2
四半期包括利益	1,267	634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,267	634
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、株式取得に伴い北海道オンラインサービス株式会社を連結の範囲に含めております。なお、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社には該当いたしません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、会計上の見積りにおいて、四半期連結財務諸表作成時までに入手可能な情報により、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し見積りを行っております。現時点でこの見積り内容に大きな影響は発生しないと判断しております。